

【秋田県主催】オンラインで海外展開！～越境ECのプロによる海外展開講座～

6月20日と21日の2日間、秋田県商業貿易課では、ウィズ・アフターコロナ下における、県内企業の海外オンラインビジネスによる海外展開をより一層促進するため、越境ECの専門家としてジェイクラブ(株)越境ECコンサルタント横川広幸市を講師として招き「オンラインで海外展開！～越境ECのプロによる海外展開講座～」を開催しました。

セミナーは対面実施のみで開催され、内容は越境ECの基礎からはじまりSNSの効果的な活用方法など応用的な内容まで幅広く興味深いものとなりました。

当協会ではセミナー開催に向け周知等に協力しました。今年度からの新しい取組みとして、各商工会議所や商工会にご協力を頂き、貿易に関するセミナーや支援事業などの情報を、可能な限り多くの方に提供しています。それにより貿易に関心をもつ県内事業者の裾野拡大を目指しています。



セミナーの様子

専門アドバイザーのご紹介

秋田県貿易促進協会の専門アドバイザー 伊藤 明子です。大仙市で株式会社ドレッシング・エーという会社を設立し、活動しています。

ドレッシング・エーのdressingとは、サラダのドレッシングが野菜の味を引き立て更に美味しくするように、商品の特徴を活かし、さらに付加価値をつけてPRするというコンセプトを意味しています。また、ドレッシング・エーのAはAkitaを意味し、秋田の名産品や文化を海外に向けて発信しています。

コロナの影響で長い間海外に出ることができませんでしたが、最近3年半ぶりにフランスを訪問し、仕事仲間や友人たちと再会し情報交換をすることができました。いまでもSNSなどでコミュニケーションをとり現地の状況は把握してい

たつもりでしたが、やはり実際に顔を合わせて会話することで新しいアイデアが生まれるなど、リアルの大切さを痛感しました。

パリでは新しい懐石料理など本格的な高級日本料理店が数軒オープンしており、またおにぎりやラーメン、お好み焼きなど気軽に楽しめるB級グルメも人気で、日本酒に関してもワインのソムリエたちが積極的に日本酒を勉強し、レストランのメニューに入れるなど、ここ数年で確実に日本と日本食への関心が高まっているのを感じました。

海外に自由に行き来できることが戻った今こそ、また新しい可能性を求めて積極的に秋田の名産品をPRしていきたいと思っています。



専門アドバイザー 伊藤明子

事務局長新任挨拶



事務局長 たくはし たくひろ 館岡 雄浩

6月1日付けで事務局長に就任いたしました館岡雄浩と申します。

就任後、協会の事業内容を詳細に把握する間もなく、定時総会の開催やベトナム・ヴィンフック省の代表団を受け入れすることになり、まさに緊張の連続でした。

最近になり、昨年度の事業資料等を見ることができるようになりましたが、最も気になっていることは会員数の推移です。

本会員数は、ここ数年減少傾向にあります。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により社

会経済活動が3年間停滞したことによるものだけとは思われません。それは、事務局長の職指定となっている県の海外支援補助金の審査委員会に出席して感じたことです。それらの審査の中で、今後の国内及び県内の人口減少による市場規模の縮小に危機感を持ち、果敢に海外展開に挑戦しようとする多くの方々が県内におられることを知りました。

それなのに、会員数はなぜ増えないのか。そこに本会が抱える課題があるように思われますが、今の私にそれに答える知識も経験もないのも事実です。今後、皆様の知恵と知識・経験をお借りして、ともに考えたいと思っておりますので、ご指導くださいますようよろしくお願い申し上げます。

秋田の貿易ビジネスをサポートします
ATPA 一般社団法人 秋田県貿易促進協会

〒010-0951 秋田県秋田市山王2丁目1-40 田口ビル1階

電話 018(896)7366 FAX 018(896)7367 Email info@a-trade.or.jp ホームページ http://a-trade.or.jp/

令和5年度定時総会開催

6月23日、秋田キャッスルホテルにおいて、会員30名(ほかに委任状提出72名)出席のもと、令和5年度の定時総会が開催されました。開会にあたり齊藤会長は、会員、関係機関等への日ごろの感謝とともに、新型コロナウイルス感染症が感染症法上第5類に変更となったことに伴い、今後は本会事業においても、海外企業等と直接顔を合わせた事業も容易となり、より制限のない形で実施できることへの期待と決意を述べました。

その後、議案審議に移り、令和4年度の事業報告と決算報告、令和5年度の事業計画と予算、参与の同意の5議案は、出席者の賛同を得て、満場一致で承認されました。今後は、この決議にもとづき、円滑な事業の実施に努めてまいります。

また、今回は議事終了後、日本貿易振興機構秋田貿易情報センター佐藤秀二所長が「新規輸出1万者支援プログラム」の説明を行い、現在、国等が一体となって進めている同プログラムによる「新たに」輸出に挑戦する中堅、中小企業の掘り起こし施策についての情報



定時総会の様子

提供を受けました。

定時総会終了後は、多くのご来賓の参加を得て懇親会を開催し、情報交換、相互交流を図るなど有意義な会となりました。

令和4年度に実施した貿易の拡大・促進に関する取組み

海外取引拡大事業

①秋田の日本酒ブランド構築、輸出促進

<現地プロモーション>

アメリカ・サンフランシスコで開催された日本酒試飲イベント「SAKE DAY 2022」に出展した。

・場 所 ホテルカブキ(アメリカ・サンフランシスコ)

・実施日 令和4年9月29日～10月4日

②越境ECオンライン海外展示会活用販路開拓

<オンラインセミナー開催>

・演 題 毎月100社の取引先と出会うオンライン展示会

・講 師 アリババジャパン(株) グローバルB2B事業部 景山 日香里氏

・場 所 Zoomウェビナーによるオンライン配信

・実施日 令和5年2月22日

③シンガポール輸出拡大

<バイヤー招聘>

シンガポールへの輸出拡大を目指し、現地バイヤーと日本の輸出担当者を招聘し県産食品等を提案した。

・場 所 秋田県内

・実施日 令和5年1月10日～11日

講習会

<ジェトロ秋田との共催による貿易実務講座の開催>

・講 師 (株)アースリンク 貿易アドバイザー 川村 久美子氏

・場 所 秋田県社会福祉会館

・実施日 (基礎編) 令和4年10月4日

(応用編) 令和4年10月5日

意見要望活動

①秋田港整備促進に関する要望書提出

<秋田港湾事務所>

・場 所 国土交通省東北地方整備局秋田港湾事務所

・実施日 令和4年4月20日

<秋田県>

・場 所 秋田県建設部

・実施日 令和4年4月28日

②国土交通省への要望活動

秋田港、船川港、能代港の3港合同による要望活動

・場 所 国土交通省・総務省(東京都)

・実施日 令和4年8月2日

・参加団体 秋田商工会議所、秋田港振興会 秋田みなと振興会、能代商工会議所 能代港湾振興会、船川港湾振興会 男鹿市商工会、秋田県貿易促進協会

ベトナム・ヴィンフック省の代表団が来県



ヴィンフックビジネス協会との意見交換会



齊藤会長とヴィンフックビジネス協会トウイ会長

6月29日、ヴィンフックビジネス協会 (Vinh Phuc Business Association) をはじめとする、ベトナム・ヴィンフック省の代表団が来県しました。

当協会とヴィンフックビジネス協会は、2019年に両地域のビジネスの発展のため、互いに協力する旨の覚書を取り交わしており、今回はその覚書に基づき、代表団が秋田県を訪問する際のアテンドを当協会が行いました。

ヴィンフック省は、面積1,237㎞²、人口約120万人、ベトナム北部でハノイまで約25分に位置しており、ノイバイ国際空港にも近接しているなど非常に利便性が高い地域です。以前は農林水産業が中心でしたが、近年は急速に工業化が進んでいます。省内には9つの工業団地があり、トヨタやホンダなど日本の大手企業も進出しています。数百とも言われる史跡、文化遺跡が点在するなど豊かな歴史、文化に恵まれており、観光業の発展にも力を注いでいます。

代表団一行はまず秋田県庁を訪問、産業労働部佐藤功一次長と面談しました。ベトナム側を代表して、ヴィンフック省人民委員会外務部クワット・ヴァン・カン次長から、秋田県に対し農業技術の供与などについての要望がありました。

その後、秋田県商工会館において、両地域間における貿易促進、農業技術や加工技術の供与、投資や観光の発展などについて意見交換がなされました。代表団の団長であるヴィンフックビジネス協会のファム・ティ・

ホン・トゥイ会長と、当協会の齊藤会長との間では、今後も相互理解をますます深め、定期的な経済交流を継続していくことが確認されました。

午後からは、東北地方整備局秋田港湾事務所のご協力のもと、港湾業務艇「あきかぜ」による海上から秋田港の見学を行い、港湾の重要な役割や近年の洋上風力発電事業に関する港湾の取り組みなどの説明を受けました。

秋田港湾視察のあとには、井川町の株式会社アイセスを訪問しました。はじめに事業内容や沿革についての説明を受け、その後、工場内などを視察しました。

夜には代表団の来県を歓迎するレセプションが開催されました。評価の高い秋田の日本酒で杯を交し、尺八の演奏、ベトナムの歌や踊りも披露されるなど、終始リラックスした雰囲気の中、互いの交流が深められました。



秋田県産業労働部を訪問



秋田県との意見交換、要望



船上から秋田港を視察



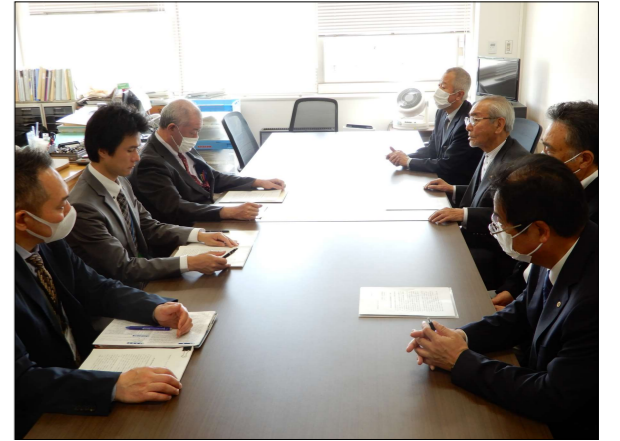
(株)アイセスを訪問

秋田港整備促進に関する要望書の提出

5月31日、環日本海交流の拠点となる秋田港の整備促進に係る要望のため、齊藤会長、大島副会長、児玉副会長、水澤専務理事が秋田県庁を訪問、建設部田中倫英部長に要望書を手交しました。

齊藤会長は「長く続いたコロナ禍からようやく正常化に進み始め、コンテナ取扱量もコロナ前の水準までには達していないものの、増加傾向にある。また秋田県としては国内初の洋上風力発電の大規模な商業運用が開始され、国際クルーズ船の県内受入れが再開されるなど、明るい話題があった一方で、エネルギーや原材料の価格高騰により、国際物流の混乱と、輸送費の高止まりは今も続いている。」と述べ、県の港の整備促進や、クルーズ船による地域振興など、引き続き県の後押しをお願いし、要望書の概要について説明しました。

これを受け、田中部長からは「物流など以前の状態までは回復していないが、今後は徐々に回復に向かうだろうと期待している。秋田県としては国際クルーズ船の受入れを再開し、今年は今までもっとも多い寄港を予定しているため、県としてもしっかりと後押ししていきたい。また、秋田港アクセス道路の早期完成に向けても引き続き尽力する。」旨の返答をいただきました。



秋田県建設部への要望活動



秋田県建設部田中倫英部長と齊藤会長

中国吉林省外事弁公室が来県

5月29日、中国の吉林省外事弁公室より、シュウ・リッショウ副主任をはじめ職員の方々が来県し、齊藤会長、水澤専務理事などと面談しました。

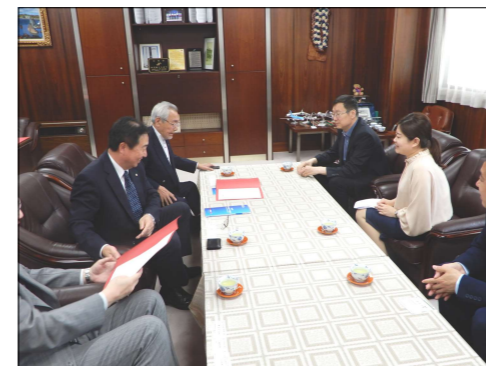
面談では、はじめにシュウ・リッショウ副主任から8月に吉林省で開催される「第3回北東アジア地域協力円卓会議」と「第14回中国・北東アジア博覧会」の開催概要について説明があり、秋田県及び県内企業の参加要請と齊藤会長へ招待状の手交がありました。

齊藤会長は、以前は毎年のように長春をはじめ中国

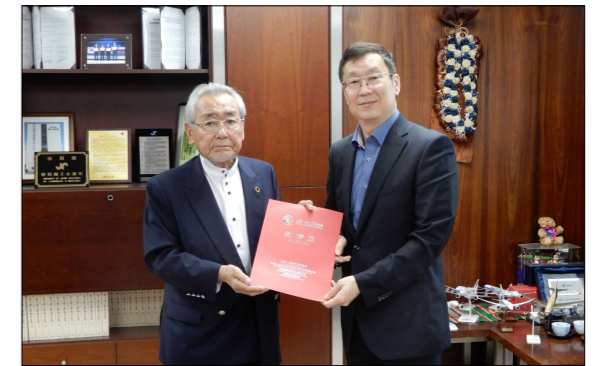
を訪れていたが、ここ数年は新型コロナウイルス感染症の影響で訪中でできていなかったということに触れ、参加については県などと相談し、前向きに検討すると述べました。

吉林省は中国東北三省の中央に位置する省で、面積約18.74万㎞²、人口は約2,750万人、省都は長春市です。

外事弁公室とは主に国際交流を担当する部署であり、そのトップの役職は「主任」となります。「主任」は日本の自治体では「部長」に相当します。



吉林省外事弁公室との面談



齊藤会長と吉林省外事弁公室シュウ・リッショウ副主任